

町会報

えひめ

2014

1

Vol.58

発行所／愛媛県町村会・愛媛県町村議会議長会
〒790-0001 松山市一番町4丁目1番地2
TEL089-941-7598(代表)
FAX089-945-1318



アフェス2014」が開催されます。

滑床溪谷は長年の浸食によって岩肌が滑らかになっており、天然のウォータースライダーがいたるところで楽しめる世界屈指のキャニオニングスポットになっています。

ロープを使って下降したり、岩の上から水面へジャンプしたり、滝をウォータースライダーのように滑ったり、泳いだり、プカプカ浮かんだり、と溪谷の自然を利用したスポーツです。

松野町滑床溪谷「キャニオニング」

キャニオニングは、キャニオン（溪谷）で遊ぶフランス発祥のリバースポーツです。

四万十川流域のアウトドアメニューが体験できるほか、ロープ木登りやキャニオニングの体験もできます。



Contents

町イチ！村イチ！2014	2～3
町村会第4回全員連絡会	4
議長会第2回定例会	4
町村会・議長会定期総会順序	5
都道府県町村会正副会長交流会議	5
随想 吉川保吉伊方町議会議長	6
全国監査委員協議会定期総会	7
一筆	8
1月の行事	8
編集後記	8

町イチ!村イチ!2014 開催される

全国から342町村が東京に集結!

～本県からは松前・松野・鬼北が出店～

1/11・12 東京国際フォーラムで



全国929町村のうち、342町村の「イチ押し」が集まる物産イベント「町イチ!村イチ!2014」(主催…全国町村会)が、1月11日(土)・12日(日)に東京国際フォーラムをメイン会場に開催された。

イベントでは、各町村自慢の特産品の展示・販売・郷土芸能の披露や飲食物の販売が行われた。また、震災復興に取り組む町村の様子やまちづくり団体等の活動を紹介するほか、移住・定住をテーマにしたコーナーや、新たに開発された特産品や新商品を紹介するコーナーが設けられた。

今回は、2日間で約52,000人の来場者となり展示・販売コーナーには310のブースが並び、約2600種類の特産品が出品。「町イチ!村イチ!食堂」では、54町村の郷土料理が販売されたほか、ご当地「ゆるキャラ」マスクットが約146体も登場した。

なお、本県からは松前町、松野町及び鬼北町が出店。また伊方町はパンフレットを配布した。

展示・販売コーナー

展示ホール(5,000㎡)には、北海道、東北、関東、北信越・東海、近畿、中国・四国、九州の七つのエリアに分かれて展示・販売ブースが並んだ。

今回は、展示ホール1(3,000㎡)しか確保しなかったため、90cm×90cmという限られた展示・販売スペースとなり、出展町村等から、広い会場と十分な展示・販売スペースを望む声が多数あったことから、今回は、展示ホール全体(5,000㎡)を確保し、2m×2mの対面式の展示・販売ブースで展開。310町村分の展示・販売ブースの出店が可能となった。

凝らし、大盤振る舞いの試飲・試食や地元特産品を懐かしむ方など、多くの来場者で賑わった。

.....

今回2回目の開催となった「町イチ!村イチ!2014」は、前回を大きく上回る52,000人の来場となった。

町村には、まだまだ多くの「宝」が眠っていると思われる。町村にとって、ごく普通なのが、都会の人にはお宝だったと、町村の素晴らしい魅力と都会の人々に訴える絶好のイベントであった。



第67回定期総会に向けて

第4回全員連絡会

県町村会は、1月27日鬼北町役場で「平成25年度第4回全員連絡会」を開催した。

会議には、白石会長、稲本副会長、高野監事、上村上島町長、佐川砥部町長、山下伊方町長、阪本松野町長、甲岡鬼北町長及び清水愛南町長の全町長が出席。

会議は次のとおり進められた。

1 開 会

あいさつ 白石会長

2 協 議

(1) 愛媛県市町振興課からの連絡事項について

信夫県市町振興課長から、当面の諸課題について説明があった。

(2) 平成24年度決算について

(1) 愛媛県町村会一般会計決算事務局から説明があり、定期総会に提出することに決定した。

(2) (財)全国自治協会愛媛県災害共済支部決算

(3) 全国町村職員生活協同組合愛媛県支部決算

事務局から説明があり、いずれも認定することに決定した。

(3) 「愛媛県町村会災害見舞金に関する規程」の制定について



説明があり、原案のとおり決定した。

(4) 平成26年度事業計画及び本会会費の分賦方法並びに予算について

① 事業計画

② 本会会費の分賦方法

③ 愛媛県町村会一般会計予算事務局から、それぞれ説明があり、原案のとおり定期総会に提出することに決定した。

④ 愛媛県町村会特別会計予算

⑤ 全国町村職員生活協同組合愛媛県支部予算

事務局から、それぞれ説明があり原案のとおり決定した。

(5) 本会第67回定期総会について

事務局から説明があり、原案のとおり開催することに決定した。なお、昨年度に続き今回も、議事終了後に議長会と合同で式典(来賓祝辞)を行うこととした。

(6) その他

① 自民党県議会議員と県内市町長との意見交換会について

② 国外の先進自治体視察研修について

事務局から、それぞれ説明があり、了承した。

③ 次回の本会全員連絡会開催について

次回の全員連絡会は、正副会長に一任された。

なお、協議終了後、鬼北町内の公共施設を視察した。

第2回定例会を開催

県町村議長会

平成25年度第2回定例会が、1月31午前10時30分から「県自治会館会議室」において開催され、関本会長、土居副会長、瀧野監事、山口砥部町議長、下野内子町議長、吉川伊方町議長、松浦鬼北町議長及び山下愛南町議長の8町議長が出席した。

会議は、次項により進められた。

1 開 会

挨拶 関本会長

2 議 程 会議録署名人の指名

3 次 の と お り 指 名 した。山口砥部町議長松浦鬼北町議長

4 報 告

(1) 行事関係について

(2) 請願・意見書等に関する定例報告について

事務局から、説明があり、一同了承。

5 協 議

(1) 平成24年度一般会計及び特別会計決算について

事務局から、内容説明があり、一同了承。原案のとおり定期総会に提出することとなった。



(2) 平成26年度一般会計予算(案)について

事務局から、①会費の分賦方法②予算案③会費の納入時期について説明があり一同了承。原案のとおり定期総会に提出することとなった。

(3) 平成26年度共済事業特別会計予算(案)について

事務局から、内容説明があり、一同了承。原案のとおり定期総会に提出することとなった。

(4) 全国町村議会議長会表彰伝達について

事務局から内容説明があり、一同了承した。

(5) 第65回定期総会の開催要領について

事務局から、①総会次第(案)②役割分担等について説明があり、一同了承し、定期総会に提出することとなった。

なお、昨年に続き今回も、議事終了後に県町村会と合同で式典(来賓祝辞)を行うこととした。

6 その他

① 四国四県町村長・議長大会について

② 第55回四国地区議長会研修会日程等(案)について

③ 次回定例会について

④ その他

順次、事務局から説明があり、一同了承した。

同日、事務局から説明があり、一同了承した。

平成26年2月24日(月) 於「松山全日空ホテル」

愛媛県町村会 第67回定期総会 本館4階 ルビールーム 1 開会のことば 〈15時30分～〉 2 会長あいさつ 愛媛県町村会長 3 全国町村会長祝辞 全国町村会長【代理】 4 議 事 (1) 平成25年会務報告 (2) 平成24年度愛媛県町村会 一般会計歳入歳出決算 (3) 平成26年度愛媛県町村会 事業計画 (4) 平成26年度愛媛県町村会 会費の分賦方法 (5) 平成26年度愛媛県町村会 一般会計予算 (6) 平成26年度愛媛県町村会 特別会計予算 5 閉 会 〈16時20分〉	愛媛県町村議会議長会 第65回定期総会 本館4階 ダイヤモンドボールルーム 1 開会のことば 〈15時30分～〉 2 会長あいさつ 愛媛県町村議会議長会会長 3 全国町村議会議長会表彰伝達 4 会議録署名人の指名 5 議 事 (1) 会務報告 (2) 平成24年度愛媛県町村議会議員 共済事業 特別会計 決算 (3) 平成26年度愛媛県町村議会議員 共済事業 特別会計 予算 (4) 平成24年度愛媛県町村議会議長会 一般会計 決算 (5) 平成26年度愛媛県町村議会議長会 会務運営方針及び事業計画 (6) 平成26年度愛媛県町村議会議長会 会費の分賦方法 (7) 平成26年度愛媛県町村議会議長会 一般会計 予算 6 閉会のことば 〈16時20分〉
○ 来賓祝辞 南館4階 エメラルドルーム 〈16時30分～ 17時00分〉 1 愛媛県知事 2 愛媛県議会議長 3 来賓紹介（愛媛県市町振興課長・全国町村会長代理）	
○ 意見交換会 南館4階 エメラルドルーム 〈17時10分～ 19時10分〉 1 愛媛県知事及び愛媛県議会議長 2 愛媛県市町振興課長及び全国町村会長 代理 行政部長 3 県下町長及び町議会議長	



都道府県町村会
正副会長交流会開く

全国町村会は、1月23日全国町村会館で「都道府県町村会正副会長交流会」を開催した。本会からは白石会長、稲本副会長及び事務局長が出席した。

会議は、藤原全国町村会長の挨拶に始まり、来賓の関口総務副大臣、蓬全国町村議会議長会長から祝辞があった。

次いで、自治功労者表彰が行われた後に、京都大学大学院工学研究科教授の藤井聡氏から「日本再生に向けての列島強靱化論」と題する講演を聴講。

最後に都道府県町村会の正副会長等と意見交換が行われ、盛会に終了した。

随 想

「オールラウンドなまちへ」

伊方町議会議長 吉 川 保 吉



町村議長会事務局から、リレー随想のお話しがあり、少々戸惑いながらペンを取っています。

元来、これといった趣味もなく、皆で酒を酌み交わすのがせいぜいといった私ですので随想には程遠いのですが、日々頭をよぎる我が町への思いを書き記してみたいと思います。

ご承知のとおり、伊方町は四国唯一の原子力の町として、近年は発電所と共に町の歴史を刻んできました。それまでの伊方町は、佐田岬半島という厳しい地勢から、陸の孤島と呼ばれるほどの寒村でした。

それが、発電所の立地に伴い、町民の就業先が大きく拡がり、商業も発電所の需要に寄りかかる形で発展してきました。野球チームにたとえると、強力な4番バッターに支え

られたワンマンチームのようなものであります。

そのような状況を一変させたのが、東日本大震災であり、福島第一発電所の過酷事故でした。刻々と伝えられる衝撃的な映像に、日本中が固唾を呑んで見入ったことと思います。当然のことながら、伊方町の原子炉もすべて停止し、先行きの見えないまま、日増しに冷え込んでいく町の現実に直面しています。



(隠岐郡海士町にて)

このような折、漁業を営む議員から離島というハンディを跳ね返し、地場産業の復興を果たした町がある。若い起業家も多数生まれており、何か学べるものがあるはずだとの声があり、現状を打開したいとの思いから、全議員でその地（隠岐郡海士町）を訪ねました。同町は、島根県の沖合に浮かぶ小さな島ですが、そこでは島外から多様な人材を受け入れ、島民に無かった発想で、実に斬新な取り組みが進められていました。

特に、新たな冷凍システム（CASS）による水産加工技術の改革や地域教育の再生事業、これらに派生した定住促進対策には目を瞠るものがあり、多くのヒントと我が町もきっとやれるという勇気をいただきました。

伊方町が、再び原子力の町として歩むか否かは、国の判断を待ち、議論を尽くして言うことになりました



が、強力な4番バッターに頼るだけでなく、農・漁・商の3拍子が揃ったオールラウンドなまちへ歩を進めたいと思います。





全国監査委員協議会定期総会 監査機能の充実と体制強化を！

全国町村監査委員協議会の「第23回定期総会」が、1月17日、「全国町村議員会館会議室」で開催され、関係県の会長、事務局長ら約60人が出席。本県からは上甲会長（鬼北町代表監査委員）及び事務局長が出席した。

総会は、耕田会長（徳島県那賀町代表監査委員）のあいさつに始まり、左記のとおり進められた。

- 議長選出
新屋敷鹿兒島県会長を選出。
- 議事録署名人の指名

3 議 事

日程第2 報告第1号 会務報告
会長から一年間の会務の状況の報告があった。

日程第3 承認第1号「平成24年全国町村監査委員協議会決算」事務局から決算説明があり、異議なく承認された。

日程第4 議案第1号「平成26年度全国町村監査委員協議会事業計画及び予算」を議決

日程第5 議案第2号「監査機能の強化に関する要望」を原案のとお

り決定。

日程第6 議案第3号「決議」を原案のとお

り決定。

日程第7 協議第1号「実行運動方法」を決定。

なお、総会に先立ち、「地方公共団体の監査制度に関する研究会報告書」について、総務省の泉水監査制度専門官からの講演を聴講した。

また、総会前日の16日に幹事会が開催され、事務局長が出席。総会提出案件の事前協議を行った。

監査機能の強化に関する要望

すべての地方公共団体が自ら責任ある監査を実施するため、監査の独立性・専門性をさらに強化する必要がある。よって、下記事項の実現を強く要望する。

記

- 監査委員事務局の強化
監査委員事務局は、監査委員に当然に付帯するものとして、市町村についても設置を法律で明確に規定すること。
- 監査委員の独立性の確保
監査の独立性を図るため、監査委員は議会において選任できるようにすること。
- 町村の実情に応じた監査制度の検討
監査制度の見直しにあたっては、町村の実情を踏まえた実効性のある制度となるよう、検討すること。

平成26年 1 月17日

全国町村監査委員協議会 第23回定期総会

第23回定期総会日程

日 時 平成26年 1 月17日（金） 午前10時開会

場 所 全国町村議員会館 2階会議室

〔講 演〕 演 題 「地方公共団体の監査制度に関する研究会報告書」

総務省自治行政局行政課

監査制度専門官 泉水克規 氏

〔議 事〕 日程第1 議事録署名人の指名

日程第2 報告第1号 会務報告

日程第3 承認第1号 平成24年度決算

日程第4 議案第1号

平成26年度事業計画及び収支予算

日程第5 議案第2号

監査機能の強化に関する要望

日程第6 議案第3号 決議

日程第7 協議第1号 実行運動方法（案）

決 議

われわれ町村監査委員は、厳しい町村財政の中、行政に対する住民の信頼を確保し、透明性のあるものとしていくため、日々研鑽を積み努力を重ねている。

しかしながら、町村における監査体制は、その課せられた義務と責任を十分に果たすには厳しい現状にある。

このため、研修、事務局体制の充実強化をはじめ、監査活動費の確保等監査機能の充実強化が緊急の課題である。

本日、ここに「全国町村監査委員協議会第23回定期総会」を開催し、町村監査委員相互の緊密な連携のもと、決意を新たに、下記事項の早期実現に向け、組織を挙げて邁進することを表明する。

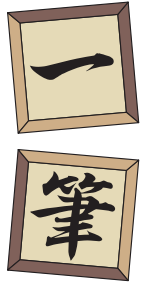
記

- 監査機能の充実と監査体制を強化するため、監査事務局体制を整備する。
- 監査の充実を期するため、必要な監査活動費を確保し、監査委員の職務にふさわしい報酬とする。
- 全国の町村監査委員の声を結集するため、未加入団体の全国協議会への早期加入を促進する。

以上、決議する。

平成26年 1 月17日

全国町村監査委員協議会 第23回定期総会



リケジョの成果

一月末と云えば、年間を通して一番寒さ厳しい時期。伊予路に春を知らせる「椿さん」(愛媛三大祭りの一つ・松山市の伊予豆比古命神社・椿神社)が、今年は2月6・7・8日の3日間(旧暦1月8日を例祭日に前後3日間)開かれる。昔から寒さもこの「椿さん」までと言われ、毎年この頃になると一段と寒さが厳しくなる。しかし、今年は酷寒と4月ごろの陽気と併せた日々。極端な寒暖は、三寒四温とも違う変な天候である。2月に入れば、一気に寒さが戻って来るはず、「椿さん」に外れない。

今、地震は日本列島の何処かで毎日起っている。昨今のように天候が例年のとおりでなければ、そのうち大地震が起くるのではとマジに思う。また、発生確率が高まる現在では、南海トラフ巨大地震の被害想定がメディアでやたら目に留まる。勿論、常に危機意識は持たなければならぬし、巨大となればなるほど「自助」が一番である事を十分承知しておかなければならない。

さて、今年の新成人は、1221万人である。総人口の0.95%と昨年より約10万人減、昭和43年以来最小数であった。日本の平均年齢は、確か40歳と言われているが、高齢者の増加は確実な数で移行する。先々をこの狭い国

土に海外からの移民案は、国民性も考慮し、既に少子化に対して積極的に移住政策を展開した国々の結果を学習し、真剣に精査すべきであろう。我が国は、太古の昔から大きな争いと狩猟、略奪よりも静かに水田を守り稲作と山の幸・海の幸で生計を今日まで続けてきた(不幸にも一時期、戦争に遭遇)。是非とも今世紀は、老若男女皆が結束、ハイテクノロジを駆使、少数精鋭で。諸外国へは正々堂々と事実を説明し、真の理解を深める。自国利益と協調性のない各工作のみに走る国に臆することなど皆無。利を求めず発展途上国へは、出来る限り各般にわたり支援・協力する国でありたい。

日本の子供達は、諸外国と比べ、全ての能力が平均で優れたラインに位置している。新成人はその一階層であることを自覚すべきである。因みに一般社会人の能力も他国より平均で一段と優れている結果が出ていることも知るべきである。その頂点の一つとして、この度「リケジョ」の成果が、世界を駆巡った。小保方晴子さん率いる研究者(神戸の理化学研究所)が「万能細胞」(STAP細胞)を新手法で作った世界的発見である。小保方さんの気取らないさりとした発表は印象的で、研究室の割烹着姿とともに日本人的である。ストレスによって若返る細胞の未来は、リケジョとともにこれからの再生医療等の大きな星である。

「科学と芸術は全世界に属する。」

この二つの前では、

民族性の障壁は消えてしまう」

(ゲーテ ドイツの詩人)

1月の会と催し

- ▽6日 2014年賀交歓会
- ▽7日 県人権対策協議会平成25年賀交歓会
- ▽10日 「町イチ!村イチ! 2014」商談会
- ▽11日 「町イチ!村イチ! 2014」(12日まで)
- ▽14日 平成25年度議長研修会(国際文化アカデミー研修受講)(15日まで)
- ▽15日 町村議会の制度・運営に関する検討委員会幹事会、公務災害連合会連絡会議
- ▽16日 全国町村議会議長会連絡調整会議、全国町村監査委員協議会幹事会、同会長・事務局長懇談会
- ▽17日 全国町村監査委員協議会第23回定期総会、(財)全国市町村振興協会評議員会
- ▽21日 自治体ファイナンス講座
- ▽22日 「創ろう!シルバースーフティ愛媛」推進会議、全国町村会政策調整会議、全国町村議会議長会正副会長との意見交換会
- ▽23日 全国町村会正副会長、(一般)全国自治協合理事会、全国町村職員生活協同組合理事会、全国町村会理事會、都道府県会長會、都道府県町村会正副会長交流會
- ▽24日 全国退職手当組合協議会代表者會議、全国町村会政務調査會財政委員會、全国山村振興連盟支部事務局長會議
- ▽25日 愛媛県町村会第4回全員連絡會
- ▽29日 愛媛県農業會議1月定例常任會議員會議
- ▽30日 内外情勢調査會松山支部懇談會、第12回えひめ笑顔の助け合い基金運営委員會、平成25年度県と市町の産業保健スタッフ連絡會
- ▽31日 愛媛県町村議會議長會第2回定例會

編集後記

年末に見た映画に触発されて、あらためて「坂の上の雲」を読み直しています。

今年は日露戦争の開戦から110年目に当たる年です。この小説には、当時、弱小国日本が国家の存亡を賭けて英知を絞って、時代に立ち向かった明治の群像が生きたと描かれています。断っておきますが、僕は戦争を肯定しているわけではないんですよ、念のため。

歴史を振り返るとき、我が国は世界でも類のない経済発展を遂げ、平和で安定した国家を築き上げました。その道程は決して平坦ではなく、時代に生きた人々のご苦労に心から感謝の誠を捧げます。

現代に生きる私たちは、先人が築いたこの平和と繁栄を維持するともに、次代に引き継ぐ責務があるんじゃないかと、年の初めに考えてしましました。柄じゃないんですけどね。

♪春になれば しか(こ)氷もとけて
どじよつこなど ふなつこなど
よるがあけたと おもうべな♪
聞き覚えのある方が少なくなつた
かもしれないが、昔懐かしい東北
地方のわらべ歌です。冬から春を待
つ季節の移ろいがよくでています。
明日から2月、如月です。

年々、作業効率が落ちてきている
ような気がしてなりません。関係す
る皆さんにご迷惑をおかけしている
のではないかとヒヤヒヤしながら携
わっています。

今年も精一杯がんばりますので、
格別のご協力をいただきますようお願い
いたします。